

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	眼科手術で摘出した隅角組織の形態学的検討及び酸化ストレスマーカーの検出・HTLV1を含むヘルペスウイルスによる続発緑内障
研究責任者	濱中輝彦
研究機関名	日本赤十字社医療センター眼科、島根大学医学部眼科、石田眼科(上越市)、松江赤十字病院眼科、公立諏訪東京理科大学共通マネジメント教育センター、群馬大学眼科
研究目的と意義	緑内障における房水流出障害の責任病巣は隅角である。今回は緑内障手術で得られた隅角組織を使用して免疫組織学的手法を用い、隅角のどの部位がどのような障害を受けているかを明らかにする。それが明らかになればさらに治療特に手術術式の選択決定にも寄与すると期待される。
研究方法	今回は緑内障手術で得られた隅角組織を免疫組織学的方法を用いてストレスマーカーの局在と隅角のどの部位が障害を受けているかを明らかにする。 <u>試料(検体)情報の利用停止について</u> ご自身の資料情報をこの研究に利用してほしくない場合にはご本人または代理人のかたからお申し頂ければ利用を停止することができます。なお、利用停止のお申し出は2020年3月中までをお願いいたします。それ以降は解析、結果の公表を行うため、情報の一部を削除することが出来ず、ご要望にはそえないことがあります。なお本研究に参加を希望されない患者様でもそれによる不利益は生じません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 眼科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者： 濱中輝彦 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604